

東海北陸ブロック大会敦賀大会（第4分科会）に参加して

白山市 PTA 連合会

副会長 澤田 英一

1. 日 時：平成29年10月7日（土） 9：30～12：00

2. 会 場：敦賀気比高等学校講堂

3. 分科会内容：第4分科会（学校支援 ～PTA がつなぐこと～）

【研究発表①】三重県 名張市立箕曲小学校 PTA

グローバル化、情報社会（教育）への対応～忘れてはならないローカル教育の重要性～

【研究発表②】福井県 坂井市立丸岡南中学校 PTA

「南中プライド」を育む PTCA～地域との連携、活動の充実化

【パネルディスカッション】

助言者：坪川 淳一（坂井市春江町コミュニティーセンター長）

コーディネーター：岡本 章（敦賀市教育委員会社会教育指導員）

パネリスト：田本 憲恭（福井県 PTA 連合会元会長）

：生悦住 嘉信（名張市立箕曲小学校 PTA 会長）

：前田 公子（坂井市立丸岡南中学校 PTA 会長）

4. 感 想



今回、私が参加した第4分科会は、敦賀気比高等学校の講堂において、学校支援（PTA がつなぐこと）をテーマとし、小学校、中学校それぞれ1校の研究発表とパネルディスカッションが行われた。

本年度に創立142年を迎える歴史ある箕曲小学校の発表では、以前から地域のサポーターと共に様々な活動を行い、それらを通して子供たちが地域住民と向き合う様子が紹介された。

また、丸岡南中学校は、平成18年に新設された比較的新しい学校であり、他に類を見ない学校の特色に加え、開校後、試行錯誤を重ねて現在に至る PTA 活動について紹介があった。

どちらの学校においても、保護者、教職員そして地域とより良い連携が図れるよう常に模索しながら PTA 活動を行っていることが分かった。

地域や学校の成り立ちは異なるが、今まさに同世代の子供を育てる保護者が集まり、各々の活動や最新の情報等を共有できるこの大会への参加は大変有意義であった。

今回の研究発表やパネルディスカッション、そして大会全体で得られたいくつかの「気付き」を今後の PTA 活動のヒントとして大いに役立てたいと思う。